

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成 2 7 年 度 第 2 回 ジョ ン ソ ン 基 地 跡 地 利 用 計 画 審 議 会
開 催 日 時	平成 2 7 年 6 月 1 2 日 (金) 午後 1 時 3 0 分 開 会、午後 3 時 0 0 分 閉 会
開 催 場 所	入間市役所 4 階 大 会 議 室
議 長 氏 名	関根 栄 一
出席委員(者)氏名	青山正一、我孫子 学、岩井絹江、大賀志日出輝、久原愛生、 小鹿広美、駒月理人、澤田壽一、関根栄一、高石直美、高橋康造、 瀧 和之、豊泉一雄、吉川弘三
欠席委員(者)氏名	岩崎 茂
説 明 者 の 職 氏 名	課長 浅見嘉之、副主幹 亀田一生
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 議 題 (1) 平成 27 年度第 1 回審議会 (H27. 4. 24 開催) で出された意見、 質問に対する回答について (公開) (2) これまでに寄せられた意見と要望及び 5 月 29、30 日に開催し た市民説明会での意見について (公開) (3) 防衛省の要請に対する市の対応について 3 その他 4 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	4 9 名
配 布 資 料	・資料 1 3 平成 27 年度第 1 回審議会が出された質問に対する回答 について ・資料 1 4 5 月 1 日から 6 月 5 日までに寄せられた意見と要望 ・資料 1 5 東町側留保地の防衛省による利用に関する市民説明会 (5/29・30) での意見 ・資料 1 6 市民説明会での質問に対する回答について
事務局職員職氏名	企画部長 田中利之、次長 長谷川芳明、企画課長 浅見嘉之 主幹 宮澤昌樹、副主幹 亀田一生、主事 松本幸文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

次の議題について、委員からの質疑を受け事務局が回答した。

- (1) 平成27年度第1回審議会（H27.4.24開催）で出された意見、質問に対する回答について
- (2) これまでに寄せられた意見と要望及び5月29、30日に開催した市民説明会での意見について
- (3) 防衛省の要請に対する市の対応について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)
関根会長	<p>それでは、早速議事に入ります。議事（１）平成２７年度第１回審議会（H27.4.24 開催）で出された意見、質問に対する回答について、事務局より説明願います。</p>
浅見課長	<p>それでは、前回第１回会議において、委員の皆様からいただきましたご意見、ご質問につきまして、事務局で調べたり、防衛省に確認したりして得られました回答内容をご説明します。</p> <p>まず、資料はございませんが、前回の会議で、「防衛省の回答について、回答者の具体的な担当者名を載せるべき」とのご意見についてご説明します。これは、前回会議で大賀志委員からいただいたものです。結論としては個別の職員名は載せないこととさせていただきます。その理由ですが、防衛省も市も組織として業務を行っております。ある一定の方向性をもった回答を組織として示す場合、その結論に至るまでは、様々な部署の考えの調整を経ております。したがって、一個人の職員の名前は出すべきではなく、組織としての回答とさせていただくものです。組織としての見解は一職員の考え方よりも内容も責任も重いということも言えるのではないかと思います。ご理解くださいますようお願いいたします。今後、事務局からお示しする資料については、出所の組織名（防衛省）を記載する対応とさせていただきます。</p> <p>また、前回会議では、防衛省の誰が回答したのかを問われ、個人名までお答えしたところですが、事前に配布しました会議録にありますように、会議録の表記は所属と職名にとどめさせていただきました。大賀志委員にもこの点については、事前に了解をいただいております。</p> <p>大賀志委員からのご意見の２点目になりますが、人間基地を離着陸する</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>航空機の最低飛行高度を市とまたは狭山市・所沢市とともに申し入れをして入間基地との間で取り決めをすべきという内容がございました。この件に関連する市のこれまでの対応としては、入間市もメンバーである埼玉県基地対策協議会からの要望を毎年防衛省に対して行っております。具体的には、「市街地上空での低空飛行を制限すること」や「住宅防音工事対象区域を外れて飛行しないこと」を要望しております。この内容以上の具体的な飛行高度を定めた取り決めで入間基地と取り交わすことについては、現時点で考えておりません。狭山市、所沢市にも意向を確認しましたが、具体的な対応をするという返事はありませんでした。騒音被害を想定した新たな要望や取り決めについては、受け入れの方向がはっきりした段階で改めて検討したいと思います。ご理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>大賀志委員からの３点目のご意見は、自衛隊病院に産婦人科を設置するように要望すべきというものでした。このご意見につきましては、難しいのではないかという立場を取られるご意見もあったわけですが、審議会としてどうすべきかについて、後日の審議会においてご議論いただければと思っております。</p> <p>それでは、資料に基づきご説明します。平成２７年度第１回審議会で出された意見、質問に対する回答について、資料１３をご覧ください。前回の会議でこれも大賀志委員からいただいたご質問でしたが、「東町側留保地の災害対処拠点は、南海トラフ巨大地震が発生した場合でも、すべての派遣部隊等を集結させる拠点となるのか。」というものでした。</p> <p>防衛省によると、「南海トラフ地震発生時は、首都圏に部隊を集結させる計画はない。」とのことでありました。</p> <p>次に、２点目ですが、前回の会議で久原委員からいただいたご質問でございす。ご質問の内容は、「首都直下地震の場合、入間基地のみが災害</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>対処拠点となるのか、いくつかの候補地があったり、これから建設しようとしていたりしているのか。」というものでした。</p> <p>防衛省に確認したところ、「首都直下地震の場合、入間基地のみが対応するわけではない。」とのことでありました。災害対応のためには、首都圏近郊の複数の基地が任務にあたるということです。ただし、それは既存の施設を使うということであり、新たに災害対処拠点とするのは入間基地隣接の留保地のみということであります。</p> <p>なお、併せてご質問いただきました豊岡地区区長会としての防災倉庫を災害対処拠点区域内に設置できないかについては、後ほどご紹介する豊岡地区区長会からの要望としてもいただきましたので、現在防衛省と調整中でありますので、本日の回答はご容赦願います。</p> <p>以上が、前回第１回会議において、委員の皆様からいただきましたご意見、ご質問につきまして、事務局で調べました、又は防衛省に確認して得られました回答内容のご説明でございます。</p> <p>ただいま、事務局から説明いただきましたが、何か質問等ございませんか。</p> <p>無いようですので、次の議事に入りますが、その前に私から一言申し上げます。前回の第１回審議会（４．２４ 開催）以降、５月１日号の市報で東町側留保地の防衛省による利用内容について、市がお知らせをしました。その後、市では市民からの意見の収集を行い、５月２９、３０日には市民説明会を開催しました。本日の資料にあるとおり、この間、市民から様々なご意見が出されました。</p> <p>本日は、この経過を踏まえての審議会となります。田中市長は６月１日の記者会見で、今後、市民の意見を踏まえしっかり議論していきたいと表明しました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>われわれ審議会としても、この1か月ちょっとの間の経過を踏まえ、今後どのような対応をしていくべきかが求められていると思います。この点を意識しながら、事務局からの説明をお聞きます。</p> <p>それでは、次の議題「（２）これまでに寄せられた意見と要望及び５月２９・３０日に開催した市民説明会での意見について」事務局より説明を求めます。</p> <p>それでは、５月１日から募集を行っている市民意見等について６月５日までの情報でとりまとめを行った概要、及び５月２９・３０日、市民活動センターにて開催いたしました東町側留保地の防衛省による利用に関する市民説明会でのご意見等の概要について、ご説明します。資料１４、資料１５を使います。</p> <p>５月１日から募集を行っている市民意見等について６月５日までの情報でとりまとめを行った概要についてですが、資料１４をご覧ください。６月５日までにいただいた意見書の数５４件でした。こちらについては、防衛省の利用計画に肯定的な意見と否定的な意見がございまして、否定的な立場のご意見がほとんどを占めています。肯定的な意見には文頭に☆印を付け、否定的な意見には○を付けて区分してあります。資料の最初のページには肯定的な意見と否定的な意見のそれぞれ主なものをお示しました。その内容をひとつお申し上げます。</p> <p>☆災害拠点の整備は絶対必要。</p> <p>☆声に出さなくても、どちらかといえば賛成の人が多いのでは。</p> <p>☆市内の運動施設が不足しているので早期に受け入れるべき。</p> <p>☆家族が都内にいて地震にあうことも考えられる。人間基地に災害対処拠点をつくることにより、首都直下型地震で助かる人が出てくると思う。</p> <p>○市民への説明不足、周知不足。</p> <p>○審議会の進め方に疑問。慎重審議を。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>○災害対処に名を借りた基地拡張は戦争に直結する。</p> <p>○環境問題（影響調査実施、騒音増加）</p> <p>○戦争をイメージさせる自衛隊病院には反対。</p> <p>次に、２ページ目以降ですが、１．防衛省の計画全般に対する意見、２．災害対処拠点、３．自衛隊病院、４．緑地帯、５．平和都市宣言について、６．入間市の跡地利用計画を進めるべき、７．政府に対する意見、８．オスプレイについて、９．その他 と区分し、ご意見の内容をとりまとめました。</p> <p>この中で、１．防衛省の計画全般に対する意見（２ページ～３ページにかけて）は、主な意見をさらに分類し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民への説明不足、周知不足 ・審議会の進め方に疑問。慎重審議を。 ・入間基地の拡大、防衛力の向上である。 ・環境問題（影響調査実施、騒音増加） <p>の４項目に分けてみました。それでは資料１４に従い、順次ご説明します。</p> <p>----- 資料１４により意見の内容を説明 -----</p> <p>つづいて、８ページには、防衛省の利用計画に対する要望書の概要を掲載しました。要望書は入間市消防団（４／１ 現在・団員２８６名）団長からのもの、豊岡区長会（３４区長）からのもの、入間市体育協会からのもの、入間市サッカー協会少年少女部会からのものの４つでございます。</p> <p>具体的に、消防団については、災害対処拠点の一部を消防団員による操法の実施が可能なアスファルト舗装の駐車場を確保することを要望されています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>豊岡区長会については、災害対処拠点に、豊岡地区の防災倉庫を設置できるよう市が防衛省にはたらきかけることを要望されています。</p> <p>体育協会については、災害対処拠点の開放区域に1周400mで8レーンの陸上競技場とその内側にサッカー場を有する施設、さらにはソフトボール場の整備を要望されています。</p> <p>入間市サッカー協会少年少女部会については、開放区域の運動場をサッカー場として利用したいと要望されています。</p> <p>これら4つの要望は、防衛省による利用の受け入れを前提とした内容となっております。</p> <p>以上が、5月1日から6月5日までに寄せられた意見と要望書の概要です。</p> <p>市民説明会での意見等は資料15のとおりです。（個別説明については省略）</p> <p>なお、市民説明会の会場でのご質問のうち、防衛省に確認が必要となったものについては確認をとり、資料16に載せてありますのでご参照ください。</p>
澤田委員	<p>市民説明会には何人参加したのですか。</p>
浅見課長	<p>市民説明会の参加人数ですが、29日が49名、30日が33名で、資料には載せておりませんでした。市の公式ホームページに掲載しております。</p>
関根会長	<p>ただいま、事務局から説明いただきましたが、その中で要望の内容については、本日ご出席の委員が所属する豊岡区長会、入間市体育協会からのものがございました。そこで、それぞれの団体に属する委員から補足説明</p>

発 言 者	発 言 内 容
久原委員	<p>があれば、ご説明いただきたいと思います。</p> <p>はじめに豊岡区長会からの要望について、久原委員からお願いします。</p> <p>現在、豊岡区長会の防災倉庫は黒須にあり、豊岡の中心ではありません。もちろん、豊岡に防災倉庫があることで豊岡地区全体が助かるわけではありませんが、例えば、水をろ過するものがそこにあるということを区長は皆知っており、有事の際にそこを本部とすることもできます。それによって助かる人も出てくる可能性があります。そのようなことから、豊岡地区区長会としても災害拠点になるような防災倉庫を作りたいということで要望いたしました。</p>
関根会長	<p>今の説明について、事務局から何かありますか。</p>
浅見課長	<p>資料にありますように、要望書を受理しておりますので、今後防衛省との調整の中で、その内容を伝えてまいります。</p>
関根会長	<p>次に、入間市体育協会からの要望について、豊泉委員から補足説明をお願いします。</p>
豊泉委員	<p>前回の会議で澤田委員から、「スポーツ施設の利用については、体育協会、ソフトボール協会、サッカー協会などと協議し…」といったお言葉をいただきました。体育協会も役員等で何度か会議を重ね、案をまとめて要望書を提出しました。1番の要望は400mトラックであります。市の陸上競技大会等は運動公園で競技をしておりますが、高校生くらいの脚で200mのトラックではカーブで外に出てしまうといった欠点がありますので、是非400mのトラックが欲しいというものであります。400mのトラックで8コース作った場合、最大184m、幅84mという規模にな</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>りますが、国体の時に開会式の会場になりました熊谷の運動公園には8コースのトラックがあります。この辺りにはそれに準じたものがないので、このような要望をいたしました。当然、400mトラックの中にはサッカー場もできますし、平時に空いている場所でソフトボールも、といったところも要望させていただきたいと思います。何年か前に、スポーツ振興審議委員として、西武第2球場、飯能市民球場、狭山市河川敷の運動公園、市の中央公園の視察をしましたが、施設設備にはお金がかかるということでした。この度、自衛隊の訓練場を平時は運動場として、ということですので、強く要望するところでございます。</p>
関根会長	<p>事務局、何かありますか。</p>
浅見課長	<p>ただいまの要望につきましても、防衛省との調整の際にしっかりと申し伝えてまいります。</p>
関根会長	<p>2人の委員からありました要望の補足説明について、ご質問ございますか。</p> <p>無ければ、次の議題に移りますが、事務局からの説明、また、先ほども申し上げましたとおり、田中市長が今後、市民の意見を踏まえしっかり議論していきたいと表明しております。本審議会としても慎重に審議していく必要があると考えます。</p> <p>今後、市民からのご意見や要望を踏まえての審議となりますと、当初予定していた今月までの開催スケジュールでは時間が足りないとも思います。この点について、事務局はどう考えていますか。</p>
田中部長	<p>会長の進行の中にもありましたように、市長自身、市民の皆様の意見を</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>しっかりと捉え、議論していきたいとしております。したがって、この審議会でも丁寧な審議を時間をかけて行っていただきたいと、市長も申しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま、部長からの考えも示されましたが、私としても、やはりこの審議会の会議の開催回数を当初よりも増やし、慎重に審議していきたいと思います。このような審議会の進め方としたいと思いますが、皆さんよろしいですか。</p>
澤田委員	<p>審議会を何回開いても良いと思います。しかし、私たちは審議委員として選ばれてこの場に来ており、市長から正式に諮問を受けてしっかりと審議しているにもかかわらず、この資料に審議会を批判されるような言葉が載せられることは心外です。そのようなことを公文書に載せるということは、市当局が審議会に対して不満があるものと私は考えます。そのことに関して部長から回答いただきたいと思います。</p>
田中部長	<p>ご指摘いただきました点については、実際に説明会等で得られた内容でございます。やはり、忠実にお伝えしなければならないと思い記載させていただきました。また、今までの審議会を傍聴された方々が感想として持たれた内容だと思います。したがって、これからの審議会では、そのようなことも含めて対応していただきたいという意味もこめて載せさせていただきました。</p>
澤田委員	<p>傍聴人に関しては、私は違うと思います。傍聴人は傍聴人としての権利に基づいて来ているわけです。その人たちのことを考えながら審議するというのはおかしいと思います。審議会は審議会、傍聴人は傍聴人です。それは明確に分けていただかなければ困ります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>説明会を開いたといっても、参加した８２人に振り回される審議会はおかしいと思います。部長として毅然とした態度をとってやっていただきたい。もっと激しく議論する場が審議会です。</p>
田中部長	<p>ご指摘の点はよくわかりますが、意見の一つとして捉えておりますのでご理解いただきたいと思います。審議会を軽視しているわけでもございませんし、十分な議論をし、判断をしていただきたいと思います。</p>
関根会長	<p>それでは、先ほど私が、当初よりも回数を増やしてこの審議会を慎重にやっていきたいと提案しましたが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>良いと思います。</p>
関根会長	<p>皆様のご了解が得られましたので、本審議会は当初の予定よりも開催回数を増やし、慎重に審議を進めることといたします。</p> <p>ところで、先ほどの事務局から説明では、防衛省の利用に否定的な意見が多かったわけですが、このような経過を踏まえて市として、防衛省の利用を受け入れるという考えに変わりがないのか再確認させていただきます。</p>
浅見課長	<p>資料１１に示してありますが、受け入れの考えに変わりはありません。</p> <p>今後、審議会で受け入れるという結論がもし出れば、それまでの市民の方々や審議会でのご意見を踏まえ、市民にとってメリットがあることが実現するよう防衛省と調整してまいりたいと思います。</p>
大賀志委員	<p>確認ですが、市としては受け入れを前提としてこの審議会を進めているのですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>資料１１で示した趣旨は、第３回の審議会の中で、市の考え方を示して欲しいという意見がありましたので、それを受けて市としては基本的には受け入れますという考え方を示したものです。それに基づいて、審議会としてはどのような判断をされるか、その判断材料として示したということでございます。</p>
大賀志委員	<p>資料１１の時点では、長谷川前課長から過去の経緯を説明していただいただけで、まだ何も審議していませんでした。今ですらまだ、誰も賛成、反対の意見を言っていません。その中で市としては受け入れを前提としており、そこで我々は審議しているのですか。</p>
浅見課長	<p>受け入れを前提としているのではなく、市としては受け入れたいという考え方を示しているわけです。</p>
大賀志委員	<p>では、仮に審議会の全員が受け入れませんという答申を出した場合には、市はどういう判断をするのですか。</p>
浅見課長	<p>審議会の答申は重いですので、それを市長が最終的には判断します。資料１１は、あくまでも審議の判断材料ということでご理解いただければと思います。</p>
澤田委員	<p>市は東町留保地の優先権を持っているので、防衛省からその留保地を譲って欲しいという話がきたわけです。それに基づいて市長から審議会に諮問されました。市としては前向きに考えているかもしれませんが、防衛省の言っていることを一方的に審議会に伝えているだけで審議を何もしていない。だから、説明会等で何も審議していないのではないと言われるのです。市長が諮問したとおりですと言っていれば良いのです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
大賀志委員	<p>6月9日付けの今回の審議会の案内には、防衛省による利用内容と市が平成20年6月に定めた利用計画書との整合性、防衛省の利用を受け入れたいとした市の考えについて審議いただきたい、とありますが、利用計画と、今市が考えていることは全く整合しません。利用計画には自衛隊という文字も病院という文字也没有ありません。</p> <p>まだ何も方向性が決まっていけないにもかかわらず、防衛省の利用を受け入れたいとした市の考えについて審議いただきたいというのはおかしい。全く受け入れたいと思っていません。もっとフリーな立場、白紙で審議しなければまずいと思います。</p>
田中部長	<p>市長の諮問の内容に関しては、会長が進行の冒頭でおっしゃいましたように、防衛省から申し入れがあったその対応について審議会の意見を求めるというものです。そして、審議会の中で「では、市としてはどう考えているのですか」という発言に対して、その時の市の考え方を示しました。ですからそれは、先ほど課長が申し上げましたように、判断材料というように理解いただきたいと思います。受け入れをしたいという考え方ではありますが、それですべてが決まっているわけではありませので、この審議会の中で、議論・検討いただきたいというのが趣旨でございます。</p>
関根会長	<p>初回の12月17日に、田中市長から諮問を受けました。その諮問の内容は、本日私が言ったとおり、ジョンソン基地跡地留保地のうち東町側留保地の利用が防衛省からあり、それに入間市が対応するわけですから、その利用申し入れを、申し入れがあった時点で却下してしまえば審議会はできなかったはずであります。委員の皆様は、市が受け入れたいな、という中で審議委員として選ばれたわけですから、入間市、入間市民のためにしっかり考えて答申を出すのが我々審議会の役目です。ですから先ほども言ったとおり、若干回数を増やし、もう一度慎重な審議をしていただいて、</p>

発 言 者	発 言 内 容
駒月委員	<p>市民にとっても入間市にとってもすばらしい基地跡地になるようにお願いしたいと思います。</p> <p>他に意見がなければ、市の考え方に変わりはないということを確認いたしました。</p> <p>それでは、次の議事に移ります。次の議題「（３）防衛省の要請に対する市の対応について」を審議いたします。</p> <p>ここで、審議会の諮問事項を再度、確認いたします。</p> <p>諮問の趣旨は「ジョンソン基地跡地留保地のうち東町側留保地の利用申し入れが防衛省からあったため、その対応について審議会の意見を求める」ということでございます。</p> <p>本日は、これまでの審議会での議論及び市民から寄せられたご意見等を踏まえ、防衛省による利用内容と市が平成２０年６月に定めた利用計画書との整合性、それに基づく、防衛省の利用を受け入れるという市の考え方について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。</p> <p>市民からのご意見の中には審議会での発言が少ないとのこと指摘もございます。また、私としても、今回の会議から本格的な議論が始まるとも思っております。このことから、各委員からは積極的なご発言をいただきたいと思います。状況に応じて、こちらから指名をさせていただくこともございますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、意見のある方、お願いいたします。</p> <p>どうしても、自衛隊とか基地といった言葉が出てくるとネガティブに捉えがちですが、私個人的にはこういった災害対処拠点をポジティブに考え、市の施策に生かしていくという方法もあるのではないかと思います。災害対処拠点があることを、逆にアピールポイントとして、例えば「防災</p>

発 言 者	発 言 内 容
澤田委員	<p>のまち」とか「災害に強いまち」ということを前面に出し、施策を展開していくというの也不错かなと思っています。</p> <p>その一つの理由として、私は民間企業に勤めており、お客様に色々な企業がありますが、最近「BCP」というものが強く意識されています。</p> <p>「BCP」とは事業継続計画というものです。企業では災害などの緊急事態の時に、事業継続のために工場等のハードや社員の被害をいかに最小限に抑えて早く復旧するか、ということを考え、平常時に非常事態を想定して訓練等を行うといったことが強く意識されています。</p> <p>例えば工場をどこに作るか、といった中でもBCPは重要視されています。入間市にも工業団地がありますが、入間市がこのような防災のことを一生懸命考えていますよ、ということを前面に出せば、おそらく、産業も人口も増えることを狙っていけるのではないかと思います。</p> <p>これから日本全体的に人口が減少していく中で、言葉は悪いですが、産業や人の奪い合いがどんどん加速していくのではないかと思います。そこで、市としても明確なアピールポイントというものがこれからは必要だと思いますので、是非これをきっかけに「防災」というものを前面に出し、むしろこれをポジティブに考える、ということも必要なのではないかと考えます。</p> <p>平成20年の利用計画と今回との整合性について、説明会等で多くの指摘を受けましたが、それほど矛盾は無いと思います。これまで、サッカー場を作って欲しい、何を作って欲しいといった要望はありませんでしたし、入間市の財政状態を考えると、とてもあの土地を財務省から引き受けて開発するといった能力はありません。ですから、今回は大きなチャンスだと思います。防衛省が開発してくれる、どうなるかはわかりませんがスポーツ施設も入れてくれる、また、あのジャングルのような場所をとりあえずきれいにしてくれる。誰も手入れする人がおらず、家の跡地の水道管</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋委員	<p>なども処理したわけではないので、ますますジャングルのようになれば蚊も発生するでしょうし、臭いも出るでしょう。そこを手入れしてくれると考えれば、これはいい話だと思います。ですから、平成２０年の答申と矛盾しないと思います。</p> <p>澤田委員がおっしゃったように、矛盾は無いと思います。２８万㎡の荒れた林を国家の予算で整備し、その一部を開放してくれるというのはありがたい話だと思っています。</p>
大賀志委員	<p>私は第２回か３回の審議会で、これに反対する理由は何もありませんと申し上げました。それは、当初の計画は災害対処施設計画だったわけで、３．１１のような大災害の時、一刻も早く命を救うためにはこういう施設があった方が良いでしょうという意味で賛成したのです。しかし、安保法案が閣議決定され、自衛隊を海外に派遣するなど色々とやっています。さらに、オスプレイが横田基地に配備されます。横田基地には自衛隊の部隊があり、８００人の自衛官がいます。ある資料によると、２２００人の人がいて、そのうち８００人が自衛隊です。５月１２日の新聞に、アメリカ国防総省のコメントとして、オスプレイの日本配備の理由について次のように載っています。「日本とアジア太平洋地域において人道危機と自然災害を含む危機や緊急事態の際にすばやく対応する。自衛隊との相互運用性を高め、作戦面での協力をより強化、より強い防衛関係を促進するものとする。」</p> <p>私は、大災害で一人でも多くの命を救出するためにこのような施設を作るという当初の計画であれば大いに賛成ですが、話が違う方向へ進んでいる気がします。「自衛隊との相互運用性を高め、作戦面での協力をより強化」とはどういうことなのか、市として防衛省などに確認していただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>この災害拠点のことについて、もしこの審議会が良しとすれば、拠点が実際にできてしまいます。そこにオスプレイが来る可能性は非常に高い。災害拠点のためだけなら良いですが、話が広がりすぎて違う方向に行きつつあるのが私としては非常に心配です。</p> <p>もう一点、佐賀空港にオスプレイが配備されるという記事がありました。佐賀空港を建設する時に県と地元の漁港が、自衛隊との共同利用は禁じると取り決めに交わしているにもかかわらず、政府はここに配備すると宣言しています。遠い佐賀にまでオスプレイが行くのであれば、近い将来入間基地にもオスプレイが配備される可能性が非常に高いと思います。</p>
関根会長	<p>今のオスプレイの話は事務局が防衛省に確認してください。</p>
澤田委員	<p>今の話に私は反対です。今の議論は国会でする議論だと思います。横田基地のことなどをすべて理解した人が基地司令と会って話したりしています。そのようなことを考えると、国会で行っている安保法制とこの審議会で行っている留保地の問題は切り離して議論すべきだと思います。入間基地の拡充だといえましょうかもしれませんが、国会で行うような論争をこの審議会ですて、防衛省に質問を投げかけても答えは返ってこないと思います。それは政府の問題ですから、オスプレイが来る来ないをここで議論しても仕方ないと思います。</p>
大賀志委員	<p>議論しようと思いません。これまでの流れとしてオスプレイが色々なところに配備されているということは事実であり、これからもあると思います。その時に入間基地に配備されたら我々は脅威を感じます。この施設が全く作られない状態で入間基地に配備されるなら、それは国の政策なので仕方ないと思います。しかし、留保地に災害対処拠点だけではなく、違った意味でオスプレイが配備されるのが心配なのです。そのことを防衛</p>

発 言 者	発 言 内 容
澤田委員	<p>省に確認してもなんら不都合は無いと思います。おそらく明確な回答はないと思います。しかし、こちらのスタンスとして、それは困るのだ、ということを経験した形でアピールしておかなければいけないと思うのです。</p> <p>それは理解します。ただ、私個人の意見ですが、オスプレイを危険だということは違うと思います。うちにパイロットも来ますが、オスプレイほど安全な飛行機は無いといっています。なぜ危険なのかというと、オスプレイは災害時の訓練に使われ、上空で平行飛行に切り替えるのが、パイロットによっては未熟なので落ちるのだと言います。ですから普通に飛行する分には（安全です）、音も静かです。今航空自衛隊で使っているヘリコプターの方が、オスプレイより事故率ははるかに高く、乗員も少ないです。</p>
久原委員	<p>市民の中で、自衛隊基地を拡張するのでは、という意見の方がおりました。実際、自衛隊病院というのは市民が使えないとすると、自衛隊が拡張したという形になります。基地の拡大であるかはとりあえず置いておいたとしても、市民が使えないものであれば、そういった市民の声は見当はずれではないと思います。</p> <p>また基地に隣接した自治会では、実際災害が起こったときに音が非常に激しくなるだろうと思います。防音林などを入れた設計になるのか。また設計や、色々なことが計画される中で、その都度、我々が答申した内容になっているか、といった検討ができる場があるのか、それとも設計ができた時点で、その設計のとおり進めます、という形なのかどうか。私は防音林の設置は是非お願いしたいです。</p> <p>それから、実際に災害が起きたとき、今の道路では全く機能しないと思います。そういったアクセスに関する計画もあるのか。</p> <p>このように、受け入れることが可能なかどうかの具体的なプランが、</p>

発 言 者	発 言 内 容
高石委員	<p>まだまだ見えてこない部分があります。</p> <p>災害対処拠点を作るということ自体には、私は反対しませんが、実際受け入れられないものがたくさんあるのなら、反対せざるを得ないと思うのです。ですから、これからこのようにしていくという（具体的な）計画が見えてこなければ、ただ災害対処拠点、病院を作りますというだけでは賛成反対はできないであろうと思います。</p> <p>病院の設置については、医師会としてはこの病院を一般の人が利用するのは反対だという意見なのかどうか伺いたいと思いました。産婦人科についても、国の政策の中で少子化対策に力を入れようということになっていますが、一般の病院では子どもたちが減っているわけですので、お金をかけて病院を維持できません。であれば、国でそういう設備を作り、外部からも受け入れて欲しい。このように市民が使えるような病院でなければ、誘致する意味があまり無いと思います。</p>
	<p>市民の意見に、防音林は15m程度では意味がないと書いてありますが、私もできるのであれば、2倍、3倍にして作って欲しいと思います。騒音は学校にとっても大変です。</p> <p>また、色々なものを整備する時に、一個師団くらいが来ると書いてあります。どれくらいのトラックや車が来るのか私には想像できないのですが、そうでなくてもアウトレットができた関係で週末などは圏央道から16号まで車が連なっていますので、災害に備えて1年に何回かは演習されると思いますが、その時は基地周辺だけではなく、上藤沢、宮寺の辺りまですべて車が止まるような気がするのです。バイパスも動きません。ですから、そのようなことも要望として伝えて欲しいと思います。</p> <p>安孫子委員</p> <p>平成20年の計画を見ますと、入間市においても国との連携が必要不可欠と書いてあります。内容としても、健康・スポーツ・医療という書き方</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>をされています。ですから、利用計画はそれほど整合が取れていないとはいえないのかなと思います。ただ、それを入間市が主体的にやるのか、国がやるのかということは大きな問題であるとは思いますが、利用計画そのものは平成20年に書かれたものと大きくは変わっていないのかなと。ではその時審議会では何をすべきかという、市民や入間市のためになるようなものにしていくべきではないかと思いますので、色々な意見を防衛省にぶつけてみる。例えばスポーツ施設であれば、国がコントロールするよりは、入間市が主体的に管理運営し、制約が少なくなるようにさせてもらえないか、など。そうすれば市民のための施設になるのではないかと思います。</p> <p>もともとの計画がある中で防衛省が要請してきましたが、それは防衛省にやってもらうとか、やらせるというのではなく、入間市としてどうすべきかということを議論したうえで、付帯意見として付けていけば良いと考えます。</p>
	<p>いろいろと貴重なご意見をいただきありがとうございました。細かい意見から大きな意見まであると思いますが、やはり、市民や入間市がもっと良くなるような形で市長に対しての答申を出すことがこの審議会の役目です。これもやってください、あれもやってくださいと細かいことを言ってもそれは無理だと思います。そうではなくて、この審議会の中で、こういう方向で何とかして欲しいという答申を出していかないと、市民にとっても入間市にとっても良いものはできないと思います。その辺のところを皆さんからご意見をいただいて、あと何回か回数を増やして審議会を開催していきますのでご協力をお願いします。</p> <p>吉川副会長</p> <p>何回か増やすということですが、今後直接防衛省の担当の方がいらして説明をしてくださるという可能性はあるのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>こちらとしましては防衛省に対してそのようなことは伝えてみたいと思いますが、今までの調整からすると、審議会のほうに判断をお任せしている段階なので、ということで、消極的な対応になっているようです。しかし、そういった意見が審議会から出ましたということで再度伝えてまいります。</p>
安孫子委員	<p>資料１５をじっくり読み、市民説明会などの意見を踏まえて考えてみたのですが、言葉一つ一つの定義がすごく難しく、委員の中でもその言葉でイメージすることが少し違うのではないかと考えています。例えば、「各種事態」とは何なのかと言われても、おそらく皆様考えることはそれぞれ違うと思います。また、災害拠点のイメージはいただいています、そこに何ができるのかということは正直なところよくわかりません。</p> <p>ですから、これから慎重に審議していきたいという中では、そういったところを一つ一つ確認していかなければならないと思います。ただ、防衛省からすぐにしっかりとした答えが出るかと言えば、出ないと思います。そういった意味ではこの審議会の期間で出た限られたことに対する判断をするしかないのかなと思っています。</p>
大賀志委員	<p>課長にお願いしたいのですが、資料１３「平成２７年度第１回審議会に出された質問に対する回答について」で、私と久原委員の質問に対する回答をいただきましたが、その後、防衛省からいくつか回答がありましたと口頭でおっしゃいました。それだと記録が残らないですし、大事な事なので、それも文書として配布してください。</p>
浅見課長	<p>次回以降そのようにできるよう、努力いたします。</p>
大賀志委員	<p>次回から、お一人お一人に意見を聞いたらどうでしょうか。やはり１５</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>人いるわけですから、順番に意見を言ってもらい必要があると思いますが、会長いかがですか。３５分もかけて資料を読む時間があるのであれば、その時間をセーブして個々の意見を聞いたほうが私は良いと思います。</p> <p>わかりました。次回からはなるべくその方向で進めていきたいと思います。</p> <p>本日の審議は時間もかなり経過しましたのでここまでとしまして、次回再び審議していただきたいと思います。委員の皆さんには、改めて「防衛省による利用内容と市の利用計画との整合性、それに基づき防衛省の利用を受け入れる」としている市の考え方について、それぞれ考えをまとめておいていただきますようお願いします。</p>
浅見課長	<p>本日の議事については以上となりますが、他に何かございますか。</p> <p>今日、色々な市民の意見を踏まえまして長々とお話してしまいましたが、そこには色々なジャンル、題材のお話があったと思います。次回以降は論点をはっきりさせるために、事務局としましても、こういった論点で議論をお願いします、といった資料を作成し、その上で各委員から、できれば一人ずつご意見をいただくような形で進めたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
関根会長	<p>それではそういった形で進めていきたいと思います。また、前もって書類が届きますのでよく予習していただき、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>それでは議題３「その他」について事務局からお願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
亀田副主幹	<p>次回の日程をお知らせいたします。次回は6月29日（月）を予定しております。時間、議題等まだ決まっていない部分がございますが、決まり次第、早急にお知らせいたします。</p>
関根会長	<p>これもちまして、平成27年度 第2回 ジョンソン基地跡地利用計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

27年6月25日

議 長 の 署 名

関根 栄一

議長が指名した者の署名

久保 愛生